

第1回ノーメディアデーの取組結果について

本年度1回目のノーメディアデーを三中校区の幼稚園、保育所、小学校、中学校でいっせいに、6月8日から6月12日まで実施しました。植柳小学校での集計結果をお知らせします。ご協力ありがとうございました。

1 回収率と実施率

回収率 たくさんの回答ありがとうございました。
244人/265人 92.1% 過去最高です！

実施率（1日以上取り組んでいただいた家庭）

230人/265人 86.8% 過去最高です！

2 実施日数

取組日数	今回	
① 1日	85人	34.8%
② 2日	41人	16.8%
③ 3日	23人	9.4%
④ 4日	17人	7%
⑤ 5日	59人	24.2%
日数不明	5人	2%

1日の実施が最も多く、次いで5日間実施となっています。



3 取り組んだコース

コース	今回
①家族で楽しく食事コース（食事中は、ノーテレビ・ノーゲーム）	142人
②テレビやゲームを消しておやすみコース（夜9時以降は、ノーテレビ・ノーゲーム）	97人
③テレビやゲームを消してリラックスコース（夜8時以降は、ノーテレビ・ノーゲーム）	31人
④たっぷりおしゃべりコース（帰宅してからノーテレビ・ノーゲーム）	29人
⑤今日は見ないぞ、しないぞコース（1日中ノーテレビ・ノーゲーム）	23人

※複数のコースに取り組んでいただいた家庭がありますので、合計の人数が違います。

※取り組みやすい①コースが最も多く、次いで②コースが多くなっています。

4 実施後の感想

主なコメント	今回
① 家庭での会話が増えた。	108人
② 早寝早起きができた。	73人
③ 楽しく食事ができた。	113人
④ 家族でよい時間が過ごせた。	104人
⑤ 読書ができた。	54人
⑥ よく勉強できた。	45人
⑦ ゲームの時間が減った。	47人
⑧ これから習慣づけたい。	74人
⑨ その他 ・食事に集中できた。 ・いつも通りだった。 ・寝る準備が早くできた。	9人 ・お手伝いができた。 ・いつも楽しく家族で食事している。 ・静かな時間が過ごせた。

①会話が増えた③楽しい食事ができた④家族でよい時間が過ごせたとの感想がいずれも100人を越え、多くなっています。

5 「私たちの道徳」の感想

ノーメディアデーに併せ、「私たちの道徳」を持ち帰り、指定のページを家族で読むという取組を行ったところ、多くの感想が寄せられました。代表的な感想を紹介します。

◎1年 「るっぺ どうしたの」(規則正しい生活の大切さ)

- ・物を大切にし、人のいやがることをしないように心がけていこうねと話し合いました。起きるのは自分で起きるように言っていました。
- ・していいこと、悪い事を自分なりに考えていろいろ言ってくれました。自分だったらこうする方がいいよねとか、るっぺはなんで言う事をきかないんだろうねと、考えてくれました。

◎2年 「ぼんたとかんた」(してはいけないことはしない)

- ・自分の命、友だちの命を守るためにも、危険な場所には遊びたくても行かない、友達からさそわれても断る勇気をもつことを話し合いました。
- ・自分がされて嫌なことは、おともだちにもしないように話しました。相手の気持ちを考えながら、日々過ごしてもらえたらと思います。自分の気持ち、思いをしっかりを持ち、相手にも伝えていけるといいねと話しました。

◎3年 「雨のバス停留所で」(きまりを守ることの大切さ)

- ・なぜお母さんは怒っていたのか、よし子さんはどのようにしたらよかったのかを話しました。社会の決まりなどは大人になっても大事な事なのですが、なかなか話し合う機会がもてないので、良かったです。
- ・どうしてお母さんは怖い顔をしていたのか。よし子さんの何がいけなかったのか。たくさんの人と接する社会では、まわりの人の事も考えて、きまりを守ることが大切だと話し合いました。

◎4年 「きつとできる」(高橋尚子さんの話)

- ・努力する尚子さんの姿に、息子も「頑張ろう」と心をうたれたと話していました。今年、陸上部に入り、自分のことと重ねて考えることができたようです。
- ・「こまかい積み重ねが大きな結果を生むことがあるから(将来につながるなど)日々を大切に過ごしましょう」と話し合いました。

◎5年 「ヘレンと共に～アニー・サリバン～」(ヘレン・ケラーとサリバン先生の話)

- ・ヘレン・ケラーはまさに「努力の人」。そのすばらしさを話し、ヘレン・ケラーのように一つ一つ何事もおそれず、努力する、挑戦するようにがんばろうと話しました。
- ・わたしは、ヘレン・ケラーは、目と耳と口が不自由なのにあきらめずにサリバン先生に教えてもらっていたのすごいと思いました。お母さんは、サリバン先生もあきらめずにヘレンのために愛情を持ってやっているのすごいと言っていました。

6年 「その思いを受けついで」(祖父との別れ)

- ・命が一番大切だということがよく分かりました。とてもすてきな話だと思いました。命には必ず終わりがあることをこの話で強く感じました。命は一生のたからものだと思います。
- ・命の大切さがよく分かりました。もっと命を大切にしようと思いました。



※ノーメディアデーで生まれた時間が、家族の団欒や「私たちの道徳」を話題にした会話などで充実したものになったようです。「これからの習慣にしたい」との感想もありましたので、ぜひ今後も続けていっていただければと思います。